

## 1. ミッションの概要と目標

### 【ミッション内容】

今年度のミッションは「ローカル線で貸切列車運行ミッション」とし、一般参加者を対象に参加費無料のモニターツアーを実施した。

#### ・目的

- 団体の認知度向上
- 貸切列車運行によるメンバーの企画・運営スキルの向上

#### ・具体的目標

- 団体の基盤を整備する
- 貸切列車運行のノウハウをメンバー内で共有
- 得られた知見を次回以降のイベント実施へ活かす

## 2. ミッションでの成果と実績

### 2.1 熊本電鉄でのイベント実施

#### ・背景

- 代表は高校時代に「赤パンツアの会」を立ち上げ、九州の地方鉄道で多数の貸切イベントを実施

#### ・イベント概要

- 2024年10月20日、熊本県・熊本電鉄にて撮影イベントを開催（知人を招待）
- イベント運営プロセスをメンバー内で共有し、経験値を蓄積

### 2.3 貸切列車同好会「めーぶる」としての組織体制の構築

#### ・活動開始と基盤作り

6月より活動を開始し、まず団体としてのシステム構築に力を入れる。

#### ・具体的取り組み

- 将来的な金銭の受け取りを見据え、HPやSNSアカウントを整備
- 他団体の規約を参考に、会則やプライバシーポリシーを作成

#### ・成果

組織運営の基盤が固まり、今後のイベント運営に向けた準備が進展

## 3. 初回モニターツアーの計画と実施

### 【目的】

広く団体の活動を周知し、話題作りを図るため、無料モニターツアーを初回イベントとして実施。

### 3.1 開催概要と選定プロセス

・開催日時：2024年12月8日

#### ・開催地の選定

地元和歌山電鉄を含む関西圏の地方鉄道と比較検討した結果、周辺人口が多く話題性の高い京都府の叡山電鉄線が最適と判断



### 3.2 広報活動

#### ・主要手段

- SNSを中心とした情報発信
- 複数のイベントサイトへの掲載依頼
- 運行前後の報告をリアルタイムに実施

#### ・効果と課題

- YouTubeでの映像報告や、全国紙での鉄道雑誌に代表執筆記事が掲載されるなど、多方面で高い反響を得た
- 一方、想定していたよりもSNS投稿数が伸び悩む点は、今後の広報戦略の重要な改善課題として認識



### 3.3 創意工夫

- 車内クイズ大会を実施し、沿線の魅力などを参加者に伝える工夫
- 鉄道ファン向け企画として、通常は使用されない留置線の活用を鉄道会社と交渉の上実現



### 3.4 報告と反省

#### ・報告

- SNS、YouTube、雑誌等の多様な手段で実施模様を詳細に報告
- 多くの鉄道ファンや観光客から好意的な反応を得る。特に多くの観光客から目線を奪うことができたことで叡山電鉄を初回ツアーの実施地点に選定したことの効果を実感

#### ・反省点

- 広報において「映え」を意識できなかった点や、タイトルのヲタ感を削減するなど、より洗練された表現方法が求められる
- 今後のイベント企画に活かすべき具体的な改善策の検討が必要

## 4. 課題と今後の展開

### 4.1 現在の課題

#### ・参加者・会員の集客

初回モニターツアーの成功を受け、会員内で参加者を拡大し、継続的なツアー実施を目指す計画でしたが、実際には集客に苦戦する結果に。

### 4.2 脱出策の検討

#### ・クラウドファンディング

- 一般の方々を対象に、団体設立への賛同を募ることで資金調達と新規参加者の獲得を図る

#### ・他団体とのコラボレーション

- 他イベント企画団体との連携を模索
- 貸切列車内での共同イベント開催により、従来の枠を超えた新たな企画を展開し、認知度の向上と斬新な視点の獲得を目指す

### 4.3 来年度の展望

#### ・次回イベントの計画

来年度は、5月または6月に和歌山県内での貸切列車イベントを計画中

#### ・ビジネスライクな活動としての目標

広報手段をさらに強化し、会員数の増加とツアー運営の損益分岐点0（売上と経費が釣り合う状態）を目指し、活動を持続可能な状態に導く。

## 5. ミッションからの学び

### 5.1 プロジェクト管理

#### ・実践的な学び

貸切列車イベントの企画・運営を通じ、スケジュール管理やタスク分担の重要性、さらに企画やアイデア創出の難しさを実感

### 5.2 マーケティング・広報

#### ・ターゲット分析

対象層の分析を行い、効果的な情報発信方法を模索する中で、SNS活用の厳しさと改善策の必要性を学ぶ

#### ・広報の反響

多角的な広報活動により、実際の反応から改善点が明確になり、次回以降の戦略に活かすべき貴重な経験となった

### 5.3 リスク管理

#### ・リスクへの対処

貸切列車運行に伴う多様なリスクを事前に想定し、トラブル防止のための計画策定や問題発生時の迅速な対応方法を習得

#### ・実践の重要性

現場での経験を通して、リスク管理の具体的な手法が身についたことは、今後のイベント運営において大きな財産となる